

平成25年4月5日  
東京電力株式会社

「2013年度 事業運営方針」説明会主なQ&A

【今期黒字化を達成するための方策について】

Q：更なるコスト削減を行っている状況に加えて、円安により燃料価格が上昇している等、非常に厳しい状況ですが、どのようにして今期黒字化を達成させるのですか。

A：コスト削減については試運転開始の前倒し等を行うことで石油等の消費をおさえることが可能となり、大きなコスト削減に繋がると考えております。更には工事の繰り延べ等、選択肢を多く持ち、臨機応変に対応してまいります。

【カンパニー間の取引価格の決定方法について】

Q：カンパニー制において社内取引価格はどのようにして決定されるのでしょうか。

A：電気事業会計規則や託送料金の算定の仕方などを踏襲してカンパニー収支を作成すると、カンパニー毎の収支の開きが大きくなるため、検討を進めながら修正していきます。

【カンパニーが競争を勝ち抜くための方策について】

Q：フュエル&パワー・カンパニーの方針において「全面自由化後の競争を勝ち抜くための礎」とは具体的にどのようなことでしょうか。

A：燃料コスト削減が重要であり、使用する化石燃料の量を削減することと燃料単価を下げることの両面から考えていきます。量の削減については、いかに高効率な火力発電にリプレースするかがポイントになります。燃料単価の低減については、7割を占めるLNGの単価を下げるのがポイントになり、1,000万トン/年の軽質LNG導入に向け、価格体系の多様化を踏まえ、低減を図ってまいります。

【電源開発計画の前倒しについて】

Q：供給計画において前倒しが可能な電源開発はありますか。

A：常陸那珂火力2号機<sup>\*</sup>、広野火力6号機の試運転の前倒しを考えております。2014年度運転開始予定となっている、千葉火力3号機、鹿島火力7号機のコンバインド化につきましても試運転の前倒しを考えております。

<sup>\*</sup>常陸那珂火力2号機については、平成25年4月4日に試運転開始。

以 上